

地域創成学科 1 年生

自宅学修期間中の課題について

●地域創成学科 生活基礎科目「必修科目」

地域創成ゼミナール (担当：地域創成学科教員)

地域創成学科 1 年のみなさんへ

必修科目 地域創成ゼミナールは 全員が学ぶ科目です。

1. 冊子「郡山女子大学周辺の美学」を読む。
2. 興味を抱いた項目について、各自ネット等で調べ、A4 一枚にまとめる。(登校時提出)
3. 新型コロナウイルスについて、新聞、テレビ、ネット等で調べ A4 一枚にまとめる。(登校時提出)

提出された文章は、以下の観点から評価します。

- ① わかりやすい文章になっているか
- ② 誤字脱字がないか
- ③ 内容を理解したか
- ④ 関心を抱いたか
- ⑤ 独自の発想をしているか

地域創成学科は多様な学びができるので、選択科目が多いです。

下記の科目に目を通し、自分にふさわしいと思う科目を選び、取り組んで下さい。

●地域創成学科 生活基礎科目「選択科目」

情報処理Ⅰ 及び 情報処理演習 (担当：山口 猛)

本科目は、情報リテラシーの向上と、Word・Excelの活用力を学ぶものである。予習として、以下3つの課題に取り組み、授業に向けた準備を行うこと。

1. インターネットの長所と短所について自分の考えをまとめなさい。※ノートに手書きで良い。試験課題1を実施し、理解度を確認する。
2. メールの宛先指定の種類「TO、CC、BCC」について違いを調べ、まとめなさい。※ノートに手書きで良い。試験課題1を実施し、理解度を確認する。
3. 自分が知っている方法でWordを操作し、「将来、どのようにPCを活用したいか」をテーマに、1枚程度にまとめ、貸与パソコン内に保存しておきなさい。※保存場所や保存ファイル名は自由だが、授業開始後に提出を求めることになるため、ファイルの保存場所を把握しておくこと。

Wordの機能を学習する際、自分の学習前のWord理解度の目安として確認する。授業中に修正したものを、システムめばえで提出する。

生涯学習概論 (担当：瀬谷真理子)

※3回分の課題は、下記のとおりです。授業開始後、最初の授業の際に提出となりますが、いずれも内容について評価の対象とします。評価は、下線部について要点を抑えていること自分の考えをしっかりと述べていることを重視します。

なお、提出にあたり、右上に学科、学年、氏名を記載してください。

- ① これまでの学校教育における学習をとおして、あなたにとって「学ぶ」ことの意味について、自分自身を振り返り、感じていることを **A4用紙1枚程度**にまとめなさい。

(様式、字数は自由とする)

また、地域創成学科で「学ぶ」ことへの思い(志望理由)について述べてください。

- ② 社会教育施設は、地域における「知の拠点」でもあります。図書館、公民館、博物館の3施設について、それぞれの施設の果たす役割や目的、特色について調べ、A4用紙(2枚～3枚程度)にまとめなさい。(様式、字数は自由とする)

また、住民の一人として社会教育施設について感じていることについても述べてください。

- ③ 学校・家庭・地域が一体となった教育の重要性が求められており、子どもが育つ上で

「地域の教育力の果たす役割」は大きいと考えられています。あなた自身がこれまでの生活において特に影響を受けた、もしくは心に残っている地域の人々との関わりについて、自分の育ちを振り返り A4 用紙 1 枚程度にまとめなさい。

家族社会学 （担当：知野 愛）

※自宅にある書籍や事典、またはネット検索により、次のことがらを調べ、関連することを書き写す。配布用紙 1 枚ずつにまとめて手書きで書く

。文章の最後に、何から書き写したかを明記する(著者名・書籍名、ネット検索ならば <http://>～というアドレスなどを記入)。授業開始後に提出すること。

内容理解度 8 割以上を合格とする。

- 1, 「国勢調査」はいつから始まり、何年おきに、どのような方法で実施されているのか。それに関する情報を付け加えて書く。
- 2, 「高齢者介護を担う十代の若者」が増えていると言われています。実際は、どうなのかを調べてその結果をまとめなさい。
- 3, 「子ども食堂」とは何か。具体的に実施されている地域のどこか一つを取り上げ、運営の仕方や内容など、具体的に調べてまとめて書きなさい。

生活芸術学入門 （担当：浅野、斉藤、小松、松田、黒沼）

シラバス 3 回分、下記 1～3 の内容を盛り込み、800 字程度の小論文にまとめ、5 月からの授業開始時に提出してもらいます。なお、この課題の理解度が 7～8 割に達したことを前提として次の項目を評価の観点とします。①提出小論文の目標達成度が 70%以上であること（配点 80 点）②課題に対する関心・意欲・態度（配点 20 点）

- 1ー生活芸術学入門の目標と内容、および授業の進め方、授業資料・参考書など事前にシラバスで確認しておく。また「絵画」について画集などで調べておく。
- 2ー今日、日本の文化の中で絵画ほど人々に浸透し、愛され、生活の中で欠くことの出来ない存在になっているものはないだろう。その理由を自分なりに考えてみる。
- 3ーあなたの生活の中での絵画の生かし方、楽しみ方を画集など見ながら自分なりに思い描いてみる。

基礎学力トレーニング （担当：知野、斉藤、小松、山口、仲田）

入学前教育で「めばえドリル」を実施しているもの

- ・5教科すべてで実力診断テスト 100 点を達成していない者は、100 点を達成していない科目を 100 点にしてください。
- ・5教科すべてで実力診断テスト 100 点を達成した者は、自身が最も苦手と感じている科目を 1 つ選び、再度、実力診断テストを実施し、100 点にしてください。
- ・入学前教育の実施対象外であったものは、新入生オリエンテーションで配布する入学前教育「めばえドリル①基礎編」の資料を参照し、国語と数学の実力診断テストを 100 点にしてください。

●地域創成学科 「専門科目」

日本文化史 （担当：佐藤愛未）

* シラバス 3 回分の課題

1) 授業 3 回分のレジュメを配信するので、よく読んでおくこと。

2) あなたが思う、100 年後にも残っている、もしくは残していくべきだと考える「日本文化」を 3 つ挙げてください。その 3 つに関する説明・概要・歴史を調べ、なぜ残るべきであると考えたのかあなたの考えを、A 4 用紙にまとめて書くこと。枚数は 1 枚以上（1 枚の用紙に 3 つの項目すべてまとめて書いても可、そのかわりそれぞれ項目ごとに分けて書くこと。）

なお、参考にした図書・資料・HP など（いわゆる出典）は本文の最後に必ずのせること。
（登校時提出）

評価基準：A 4 用紙 1 枚以上かけていること。出典がかけていること。自分の考えがかけていること。自分の言葉でかけていること。

ヨーロッパ文化史 （担当：桑野 聡）

下記のワークを行って下さい。

（めばえシステムによる配信ないし新入生オリ時に配布予定）

- ① 世界地図をフリーハンドで描き、提示された国・都市、山脈・河川などの地理情報を書き込んでください。（プリント 1 枚授業時提出予定）これを利用して世界地図の見方（文化圏を見分ける基準となる山脈や河川等）を解説し、今後の学習の準備を整えます。
- ② 一般に西洋史（ヨーロッパ史）は、古代ギリシア・ローマにはじまるとされますが、そ

れは何故だと思いますか？各自の意見を A4 1 枚以内で述べてください。（授業時提出予定）これを踏まえて、近代の国民国家の立場から描かれてきた 19 世紀以来の各国史とは異なる「文化圏」という考え方を解説します。

- ③ 一般に歴史は「古代・中世・近代」の三時代区分を用いて説明されます。私たちの生きる現代も、この近代の最先端部分です。「近代」あるいは「近代社会」の特徴と考えるものについて各自の意見を A4 版 1 枚以内で述べてください。（授業時提出予定）近現代の授業時にこれらのレポートを利用しながら「近代市民国家」の常識の歴史は必ずしも同じではないことを解説することで「シチズンシップ」教育の手掛かりとします。

美術史 （担当：齋藤美保子）

下記から好きな一作を選び、高校の日本史、世界史の教科書や資料集、またはネットで調べ、解説を A4 一枚にまとめなさい。（登校時提出）

1. 日本美術
2. 西洋美術
3. マンガ

〈評価の観点〉

- ①わかりやすい文章になっているか ②誤字脱字がないか ③内容を理解したか
④課題に関心を抱いたか ⑤独自の発想をしているか

図書館概論 （担当：和知 剛）

	課題の内容	備考
第 1 回	あなたの「自己紹介」と「図書館体験」を、合わせて 800 字程度にまとめましょう。	後日提出。
第 2 回	日本における公共図書館・大学図書館・学校図書館・専門図書館の、それぞれ大まかな設置数を確認すること。同時に、公共図書館と学校図書館に関する法律があることを確認すること。	典拠（出典）を控えておくこと。
第 3 回	1868 年から 1945 年までに日本国内で開館した「私立図書館」からひとつ選び、その概要を調査すること。	典拠（出典）を控えておくこと。

それぞれの課題についてレポート（Microsoft Word 等を利用して作成するのが望ましい）を作成しておき、面接授業開始後に提出のこと。論理的（説得力がある）かどうかに加えて誤字脱字がないかどうかを見ます。

図書館情報資源概論（担当：和知 剛）

	課題の内容	備考
第1回	「記憶と記録のメディア」を考える：①あなたの好きな本を1冊挙げて、その推すところを800字程度にまとめましょう。	小説単品ではなく、本を挙げてください。
第2回	「記憶と記録のメディア」を考える：②あなたの好きな音楽作品をひとつ挙げて、その推すところを800字程度にまとめましょう。	いわゆる「アルバム」(CD)が望ましいが、作品単独でもOKです。
第3回	「記憶と記録のメディア」を考える：③あなたの好きな映画をひとつ挙げて、その推すところを800字程度にまとめましょう。	

それぞれの課題についてレポート（Microsoft Word 等を利用して作成するのが望ましい）を作成しておき、面接授業開始後に提出のこと。論理的（説得力がある）かどうかに加えて誤字脱字がないかどうかを見ます。

博物館概論（担当：會田容弘）

第1回目：0：博物館学の受講の前に

MOCA 博物館概論第1回シラバス資料に添付されたパワーポイント「学芸員の一事一奥松島縄文村歴史資料館を例として一」をダウンロードし、奥松島縄文村歴史資料館の学芸員の仕事を理解する。奥松島縄文村のホームページ（MOCAにHPアドレス掲載）を開き、最近の奥松島縄文村歴史資料館の活動を理解する。このふたつを見て、奥松島縄文村の活動をwordA4版1枚以内にまとめ、MOCAから提出する。

第2回：1：博物館とは何か

MOCA 博物館概論第2回シラバス資料に貼り付けてある「教育基本法」「社会教育法」「博物館法」をダウンロードし、ファイルに保存しておく。それをよく読み、「教育基本法」「社会教育法」の中で「博物館」について述べられている条文を抜粋すること。「博物館法」をよく読み、「博物館の定義」と「博物館の事業」を抜粋すること。これらの抜粋箇所をwordA4版に貼り付けて、MOCAに提出する。

第3回：続・博物館とは何か。

「博物館法」の「博物館の事業」の中に出てくる「実物、標本、模写、模型、文献、図表、写真、フィルム、レコード等」というそれぞれの項目について、具体的事例を3つあげて、wordA4版に書いて、MOCAに提出する。提出されたレポートで授業の理解度を評価する。
例：実物、1：笹山原遺跡出土の縄文土器、2：フタバスズキリュウの頭部化石、3：ダリが描いた「内乱の予感」という油彩画

デッサン I (担当：浅野 章)

シラバス 3 回 6 コマ分の課題です。5 月からの授業開始時に出来上がった作品を提出してもらいます。

なお、この課題の理解度が 7～8 割に達したことを前提として次の項目を評価の観点とします。①提出作品の目標達成度が 70%以上であること (配点 80 点) ②課題に対する関心・意欲・態度 (配点 20 点)

- 1ー「デッサン」に関連する道具や材料などを事前に調べて、鉛筆などの有無を点検しておく。またデッサン集やクロッキー集などを事前に閲覧、研究しておく。
- 2ークロッキー (Croquis)とは速写、略画など短時間で行なう写生のこと。自分の「手」クロッキーしてみる。
- 3ー引き続き、自分の「手」をクロッキーする。制作したクロッキー作品を整理しておく。
- 4ー自分の「顔」をクロッキーしてみる。制作したクロッキー作品を整理しておく。
- 5ー人物デッサン。自分の「顔」を鉛筆でデッサンしてみる。鉛筆デッサンは形や調子を正確にとったり造形的な線の成り立ちを理解したり的確で微細な描写に優れた特性を持っている。
- 6ー引き続き、自分の「顔」を鉛筆デッサンする。顔の特徴や雰囲気を観察、そして肉薄し、完成に近づけていく。

油彩画 I (担当：浅野 章)

シラバス 3 回分の課題です。5 月からの授業開始時に出来上がったエスキース作品を提出してもらいます。なお、この課題の理解度が 7～8 割に達したことを前提として次の項目を評価の観点とします。①提出作品の目標達成度が 70%以上であること (配点 80 点) ②課題に対する関心・意欲・態度 (配点 20 点)

- 1ー「油彩画」に関連する道具や材料などを事前に調べておいて油絵具や筆などの有無を点検しておく。
- 2ー5 月からの課題・静物画 (花や瓶や布など) 制作では身近な"物"の美しさを発見し自分の内的感情を追求してゆく。あなたの自宅にある、お気に入りの静物を探してみる。
- 3ーお気に入りの静物が見つかったらスケッチブックに鉛筆でエスキース (下絵) をしてみる。また油彩画に関する作品集などを事前に閲覧、研究しておく。

版画基礎 (担当：齊藤弘久)

1. 現代のオフセット印刷の元である石版画(リトグラフ)を発見したドイツ、ゼネフルダーについて調べると共に、石版画からオフセット印刷までの歴史を考察する。
2. 銅版画、その様々な技法について調べ、それぞれの技法の特徴をあげ、摺りによっ

て表現される形式の違いを理解する。

3. 木版画(活字を含む)の歴史が始まった時期から江戸時代の浮世絵版画までの変遷を調べる。江戸期に作られた浮世絵版画を1枚選びその作られた時代背景と技法を考察する。

- ・提出 1回目、石版画の始まりから現代のオフセット印刷までの歴史を写真と文章で考察した考察し、レポート(レポート用紙3枚以上)にまとめ提出する。
2回目、技法の内容を調べ、写真と文章で校正し、表現された違いを考察し、レポート(レポート用紙3枚以上)にまとめ提出する。
3回目、選んだ1つの作品の時代背景や技法を考察し、写真と文章で考察したレポート(レポート用紙3枚以上)にまとめ提出する。
- ・評価 上記3回で、石版画、銅版画、木版画が日本に伝わり文化にどのような影響を与えたかを理解する事。

CG 基礎 I (担当：小松太志、米本順子)

(一年生Ⅲ期／地域創成学科選択科目 1 単位) CD2164

[1～3 回分]

▼受講にあたって

- ・ 受講生は、2500 円程度の教科書を購入してもらいます。現在、教室 (CG 演習室) のソフトウェア変更予定のため、教科書を検討中です。通学開始後に指定します。
- ・ 本授業は「Illustrator®クリエイター能力認定試験」に対応した内容で進行します。別途、受験料がかかるため、受験は任意としています。ただし、できるだけ受験に努めてください。

▼課題：

1. 下記の QR コードから Adobe「Illustrator チュートリアル」サイトにアクセスしてください。ページ内の見出し「Illustrator の基礎」に5つのページリンクが配置されています。下記の順にページ及び動画を視聴しておいてください。



- ① Illustrator の活用法を見る
- ② 初心者向け Illustrator の基本
- ③ Illustrator ことはじめ Step1：まずはここから「図形の組み合わせで絵を描く」
- ④ Illustrator ことはじめ Step2：応用「アイコンの作成」
- ⑤ Illustrator ことはじめ Step3：実践「印刷物の作成」

2. Adobe illustrator で作成されたイラストレーションやポスターなどの画像を 5 つ収集してください。通学開始後に提出してもらいます。

▼評価の観点：

- ・ 学科のディプロマ・ポリシーと照らし合わせて、「知識理解」「創造的思考力」を重視します。illustrator というソフトウェアで何ができるのかを知り、操作方法のイメージを掴んで、通学開始後の授業に備えてください。

以上

基礎デザイン （担当：松田理香）

（一年生 I 期／地域創成学基礎：選択科目 1 単位） CD2168

[1・2 回分]

もっとも興味・関心のあるデザイナー、クリエイター、アーティストなどについて調べ、A4 サイズの

レポート用紙 1～2 枚程度にまとめてください。授業開始日に回収します。

- ①作家名
- ②代表的な作品など（写真や図画などがあれば添付）
- ③興味・関心を持った理由
- ④その他（何かあれば）

[3 回分]

生活の中にある身近なデザインを探して写真に収め、データとして保存しておいてください。後日、学科の複合機で出力し課題作品の材料とします。

例) プロダクトデザイン（食器や文房具、家具・インテリア、事務用機器、自動車など）
 テキスタイルデザイン（主に布製品）、グラフィックデザイン（ハガキ、ポスターなど）
 その他、気になったものなど。 ※撮影の際はモラルやマナー、著作権などに配慮すること

<評価の観点>：この授業は、学科のディプロマ・ポリシーに照らして「知識理解」「創造的思考力」の 2 つの観点から評価をします。

以上

色彩学 （担当：松田理香）

（一年生Ⅰ期／地域創成学科共通専門科目：選択科目2単位） CD2166

[1 回分]

自分の名前（漢字表記・ローマ字表記など）からイメージできる色を考えてください。
もっとも近いと思われる色の名前（①世界の伝統色 または ②日本の伝統色）を調べ、
その由来などについて A4 サイズのレポート用紙にまとめてください。

授業開始日に回収します。

例） 名前：郡山花子 ・イメージする色：日本の伝統色「淡紅藤 うすべにふじ」

ほんのり赤みを含んだ薄い紫色のこと。江戸時代後期に流行した「紅藤色
（べにふじいろ）」から派生している。薄紅藤と表記されることもある。

江戸後期は派手な色が禁止されていたため・・・

[2・3 回分]

国旗は、国の理想、歴史、文化の特質を簡潔に集約し表現していることから、その国なり
の色彩文化を感じることができます。遠方からも見極められる機能性の高い色の使用を
多く見ることができますが、自分が好む国旗を1つ選んで、使われている国旗の色の意
味を調べてください。また、その国の伝統的な民族衣装や食文化などについても調べ、A4
サイズのレポート用紙1～2枚程度にまとめてください。授業開始日に回収します。

<評価の観点>：この授業は、学科のディプロマ・ポリシーに照らして「知識理解」

「課題解決力」の2つの観点から評価をします。

以上

塑造表現 （担当：黒沼 令）

塑造とは可塑性（自由に形をつくれる素材）で立体作品を造形する芸術分野の事です。

授業の内容として、主に粘土で実際に作品を制作して、彫刻の基礎的な技術・技法・表現を
学習します。

シラバス 3 回分の課題として、中学校、高校時代の美術の教科書やインターネットを活
用して以下の内容について、自学自習してください。

1. 好きな、あるいは気になる立体作品について調べて、好きな理由や気になった理由を書
く。
2. 1で取り上げた作品の作者について調べる。
3. 1で取り上げた作品の技法や表現について調べてまとめる。

◆提出方法：それぞれ A4 用紙 1 枚（参考画像やイラストなど含む）にまとめて提出す
る。

◆評価の観点

- ① 自分の考えや思いが伝わる内容であるか
- ② 詳しく調べて、まとめているか
- ③ 調べた内容について、発見などが見られるか

地域社会と食文化（担当：鈴木奈津子）

次の内容について、A4一枚にまとめなさい。（授業時提出）

※レポートには、科目名・クラス・出席番号・氏名を記載すること。

- 1. あなたの家庭でよく食べられている料理は何ですか？ その理由も記しましょう。
- 2. あなたの出身地（〇〇県〇〇市町村を記載のこと）でよく採れる食材は何ですか？
- 3. 生産される食材と風土との関係をまとめましょう。

〈評価の観点〉

- ①わかりやすい文章になっているか ②誤字脱字がないか ③内容を理解したか
- ④課題に関心を抱いたか ⑤独自の発想をしているか